

# Global FLP



## グローバル社会での活躍を目指す 外国語で学ぶ場

海外の最前線で  
勤務経験のある  
担当者が講師を  
務めます！

現代は、国を超えて、人やモノ、情報等の交流が活発化された「グローバル社会」です。グローバルFLPプログラムは「グローバル社会」での活躍を目指す学生に、外国語による実践的な学修を提供することを目的としています。

本学の伝統である実学教育を通じて修得した専門知識・技能を「グローバル社会」で発揮することができる「グローバル・プロフェッショナル」の育成を目指す、全学的教育プログラムです。

### 応募に必要な語学要件

グローバルFLPプログラムへの応募に際しては、以下の語学要件のいずれかを満たしていることが必要です。

#### 【英語科目の場合】

資格・検定 試験種別	TOEIC (L&R) ※IP含む	TOEFL (ITP)	TOEFL (iBT)	IELTS	TEAP	TEAP CBT	GTEC ※CBTに限る	実用英語 技能検定	ケンブリッジ 英語検定
1年次	550以上	470以上	52以上	5.0以上	270以上	500以上	1080以上	準1級 以上	B2 First(FCE), C1 Advanced(CAE), C2 Proficiency(CPE) のいずれかの合格
2年次	650以上	500以上	61以上	5.5以上	308以上	595以上	1189以上		

【中国語科目の場合】中国語検定3級、HSK4級以上

### 始める時期を自由選択

プログラムを開始するのは、自分の学修状況に合わせていつからでも可能です。1年生から始めてもいいですし、長期留学から帰国後に始めることや、4年生になってから登録することもできます。

## ■科目紹介

グローバルFLPプログラムとして設置している6科目を紹介します。

<p>グローバル・ チュートリアル</p>	<p>チュートリアルとは、チューター（教員）の助言のもとで小人数グループ討論を経て学修を深めていく教育のことをいいます。</p> <p>学部学生（日本人学生・学部留学生）と選科生が、外国語でアクティブに参加しながらともに学べる小人数制の「グローバル・チュートリアル」に<b>英語または中国語で参加することによって、国際的に活躍するための実践的素養を身に付けます。</b>使用言語（英語または中国語）が異なるクラスが複数あり、それぞれ扱うテーマが違います。いずれか1つを選択します。</p> 
<p>グローバル総合講座</p>	<p>本科目では、<b>世界と地域による不平等問題について学びます。</b>毎回、各分野の専門家を招聘して授業を開講しています。扱うテーマは、ジェンダー、経済、開発、政治的およびその他の社会的不平等など、多岐に渡ります。</p>
<p>グローバル集中講義</p>	<p>夏季集中科目は、在米日系企業に対するHuman Resources(HR)コンサルティング等の実務経験を持ち、現在も<b>アメリカで自身が設立した会社の社長・シニアコンサルタントとして活躍する実務家が担当教員を務めます。</b></p> <p>日米のビジネス文化の違いがもっとも鮮明に表れる分野がHRです。</p> <p>履修者はHRを通して、日米とアメリカのビジネス文化の違いに触れ、英語でSHRM(Society of Human Resources Management)が進める最新の知識を習得する実践的な方法を学びます。</p> <p>冬季集中科目は、<b>アジアを中心に各地に拠点を持つ法律事務所One Asia Lawyers Groupの共同創業者です。</b>さらにアジアのアーティスト、キュレーターなどをネットワーク化しつつ、世界で展覧会を企画、運営するプロダクション・ゾミアの運営、その助成を行うアウラ現代芸術振興財団代表と、世界各地でアートプロジェクトを展開、多面的に社会問題に取り組む起業家の顔も持たれています。世界では何が起きているのか、アートとはなにか、法律とアートがどう世界に貢献できるのかなどについて語り合しましょう。</p> <p>夏季・冬季とも担当教員は世界で活躍する中大卒業生、みなさんの先輩です。</p>  

<p>グローバル アクティブラーニング</p>	<p>本科目は「グローバル遠隔ラーニング」とセットで履修します。</p> <p>米国ボストンにあるブランダイス大学を訪れ、秋学期に実施するグローバル遠隔ラーニングのペア（グループ）とテーマを決めます。8月初旬の事前授業の後、<b>9月の前半に1週間ボストンに滞在してブランダイス大学日本語学科の授業に参加し、共同プロジェクトについて話し合います。</b></p> 
<p>グローバル 遠隔ラーニング</p>	<p>本科目は「グローバルアクティブラーニング」とセットで履修します。</p> <p>グローバルアクティブラーニングにおいて選択したペア（グループ）ワークにより、12月までに英語プレゼンにまとめていきます。この科目を通じて、<b>自分の研究テーマと関連する情報を英語で表現できるようになることを目指します。</b></p> 
<p>専門インターンシップ</p>	<p><b>海外で2週間の就業経験を行います。</b> 物理的・文化的環境の異なる職場で働くために学ぶべき知識、身につけるべきスキル、海外で通用する仕事をするための姿勢（態度）を、自ら目標を設定しながら身につけます。</p> <p>履修者は、選考により決定され、事前指導の後、現地での実習、そして帰国後に成果報告会を実施します。長期留学中に実施することも可能です。</p> <p>なお、原則として、インターンシップの受け入れ先は、学修の一環として履修生自身が交渉して探しますが、その他にロンドン受入などのオプションもあります。</p> <p>本科目担当の実務家教員はロンドン在住の不動産・国際金融コンサルティング会社経営者です。ロンドンにおける受入先では各種の国際イベントに参加しながらインターンシップを体験します。本科目の担当教員も、世界で活躍する中大卒業生で、みなさんの先輩です。</p>   <p>■ 専門インターンシップ経験者の体験談  <a href="https://www.chuo-u.ac.jp/gp/collaborate/program/global_flp/professional_internships/">https://www.chuo-u.ac.jp/gp/collaborate/program/global_flp/professional_internships/</a></p> 

## ■ 申し込み受付期間

---

【前期】 4月上旬      【後期】 9月中旬

※詳細はCplusまたはmanabaコース「グローバルFLP【履修生募集用】」で掲載いたします。  
全学連携教育機構WEBページも参照してください。

## ■ プログラム修了とオープンバッジの発行について

---

指定要件を満たした受講者には、グローバル社会で学部教育を通じて修得した専門的知識・技能をプログラムの求める水準で発揮できる力を身につけた修了証として、学修成果の電子証明書「オープンバッジ」を発行します。

## ■ 卒業単位として認定されるグローバルFLPの修得単位

---

プログラムで修得した単位は、原則として全て所属学部の単位（卒業単位として認定）になるので、所属学部の学修と両立して無理なく知識を深めることができます。

## ■ 履修時の注意

---

グローバルFLPプログラム設置科目は、新規開講・休講・廃止することがあります。また本プログラムにて開講されている科目には定員があり、希望者人数によっては抽選または選考を行う場合があります。

## ■ お問い合わせ

---

全学連携教育機構事務室（多摩キャンパス5号館ペDESTリアンデッキ下）

E-mail: [global-flp-grp@g.chuo-u.ac.jp](mailto:global-flp-grp@g.chuo-u.ac.jp)

T E L: 042-674-3663

W E B: [https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/gp/collaborate/program/global\\_flp/](https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/gp/collaborate/program/global_flp/)

